

九州歴史資料館 オンライン遠隔授業 学習プログラムの例

博物館は実際に来て見て触れていただくことが一番ですが、学校現場での校外学習の実施は時間や予算の面から難しいという実情を踏まえ、当館ではオンライン授業を実施しています。その他の学習先生方のご要望に沿って授業をご提供できます。授業内の15分程度のスポットでの活用も可能です。

該当学年	全学年
プログラム名	オンライン社会科見学 ー博物館バーチャル歴史体感ツアーー
単元	歴史分野の学習の導入、総合的な学習・探求の時間、キャリア教育、来館事前学習等
問いの例	なぜ歴史を学び、文化財を守り、伝えていく必要があるのだろうか
単元計画の例	本時 → 歴史の学び方をナビゲーション（小学校） 歴史のとらえ方と調べ方（中学校）、歴史の扉（高等学校）
主眼	オンラインでの展示解説を聞き、お気に入りの文化財を見つける活動を通して、感じたことを言語化することができるようにさせる。
内容	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 第1展示室の文化財の紹介（15分） 3 館内360度WEB観覧（10分）※1人1台端末でコンテンツにアクセスする 4 質問タイム（5分） 5 振り返り（10分）
ポイント	オンライン遠隔授業の標準プログラムです。おかげさまで好評をいただいております。各自で端末を操作してのバーチャル観覧や双方向の質疑応答等で学習の個性化を図ることができます。こちらは略案を準備していますので参考にしてください。また「学びに向かう力・人間性等」の評価基準の例も作成しております。

該当学年	全学年
プログラム名	専門家に聞いてみた ー博物館とつながる遠隔授業ー
単元	歴史分野の調べ学習 総合的な学習・探求の時間
単元計画の例	主題の設定 → 資料・情報の収集 → 本時 → 考察と収集
主眼	調べ学習の中で疑問に思ったことや分からないことを専門家に質問をすることを通して、学習の個性化を図り、主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（5分） 2 レポート作成と平行しての質問タイム（40分） 3 振り返り（5分） ※詳細はご要望に応じます。
ポイント	常時オンラインで接続した状態でつながることで、まるで教室に専門家がいるかのような状態で気軽に質問をすることができます。学習の自己調整や深化を期待することができます。

該当学年	小学校 4 年生～中学校 2 年生
プログラム名	すごいぞ！福岡や地域の古墳
教科・単元	<u>小学校 6 年生</u> 社会科 1 国づくりのあゆみ（教育出版） <u>中学校 1 年生</u> 社会科 第 1 章 第 2 節 古墳から分かる当時の様子（帝国書院）
問いの例	私たちが住んでいる近くにはいったいどんな古墳があるのだろう
単元計画の例	<u>小学校 6 年生</u> 巨大古墳と大王 → 古墳をつくった人々 → <u>本時</u> → 調べ学習（地域の古墳等） <u>中学校 1 年生</u> 3 鉄から見える大和王権 → <u>本時</u> → 章のまとめやレポート作成（県内の古墳等）
主眼	福岡県の古墳の発掘や調査、保護に携わる人々の話を聞いたり、写真や動画等の資料を見たりすることを通して、古墳がつくられた理由や出土品から分かること、大陸からの影響等について追求する意欲を高めることができるようにさせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（20分）※県内や地域の古墳について紹介や解説 3 質問タイム（10分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	福岡の古墳について知ることを通して、より身近に古墳を感じることができます。ご希望があれば他の博物館や現地からの中継もご相談に応じます。

該当学年	小学校 5 年生～中学校 2 年生
プログラム名	福岡の古代の「城」の謎
教科・単元	<u>中学校 1 年生</u> 社会科 歴史分野 第 1 章 第 3 節 中国にならった国家づくり（帝国書院）
問いの例	なぜ都から離れた大宰府に大規模な水城や大野城がつけられたのだろう なぜ大宰府を守る必要があったのだろう
単元計画の例	<u>本時</u> → 2 律令国家を目指して → 3 律令国家での暮らし
主眼	県内にある水城や大野城が築かれた理由を理解することを通して、当時の国際情勢やそれにとまなう国内の政治改革について主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容（例）	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（10分） 2 職員の話（30分） 3 質問タイム（5分） 4 ふりかえり（5分）
ポイント	福岡県内にある特別史跡である水城と大野城が築かれた経緯を知ること、当時の唐の成立による東アジア諸国の緊張の高まりやそれに伴う大化の改新などを学習する意欲が高まることが期待できます。また大宰府跡から発掘された重要文化財である木簡の解説を通して当時の大宰府の役割とその価値についてもお話をします。

該当学年	中学校 1 年生～高校 1 年生
プログラム名	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう 【福岡編】
教科・単元	高校 1 年生 歴史総合 第 2 章 近代化と私たち (東京書籍 新選歴史総合)
問いの例	100 年前の福岡の様子からどんなことが分かるだろう
単元計画の例	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう → 本時 → レポート作成等
主眼	博物館職員の解説や福岡の絵画資料を各自で読み取る活動を通して、近代化の歴史に関わる諸事象について、当時の福岡の様子と関連づけて課題を追究しようとしている。
内容(例)	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて(5分) 2 職員の話(10分) 3 各自で資料を調べ分かったことをまとめる(20分) 4 質問タイム(5分) 5 ふりかえり(10分)
ポイント	1 人1台端末を活用して福岡市の鳥瞰図や太宰府天満宮の絵図をよみとる活動を通して学習の個性化を図ります。また昭和初期に描かれた吉田初三郎の福岡市の鳥瞰図からは、路面電車以外にも、都市を結ぶ鉄道や石炭を運ぶ鉄道など、様々な鉄道が走っており、当時の県内の産業についても読み取ることができます。

該当学年	中学校 1 年生～高校 3 年生
プログラム名	文化財を「科学」で保存する仕事
教科・単元	高校 1 年生 歴史総合 第 4 章 4 節「現代的な諸課題の形成と展望」(東京書籍)
問いの例	現在は文化財を保護するためにどのような取り組みがされているのだろう
単元計画の例	主題の設定 → 資料・情報の収集 → 本時 → 考察と収集
主眼	文化財保護に携わる職員の解説や機器の実演の見学を通して、「歴史総合」で学んだ内容と関連づけて、文化財を保護する意義を自分の言葉で記述できるようにさせる。
内容(例)	1 九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて(10分) 2 職員の話(10分) 3 文化財を調査する X 線 CT スキャンの実演(10分) 4 質問タイム(10分) 5 ふりかえり(10分)
ポイント	九州に 2 台しかない文化財専用の X 線 CT スキャンを教室の中から学芸員の解説をともに見学することができます。またキャリア教育としての価値や文化財保護の意義について理解を深めることも期待できます。